森田

茨城県近代美術館　高校生特派員レポート　　令和 元 年 7 月 18 日

見出し（展覧会名など）

生誕90周年記念　手塚治虫展

学校名（水戸女子　**高等学校**　1　**年**）

特派員名（森田 聖音　）

〜今回、手塚治虫展に参加をして〜

今日、私達は、手塚治虫展という展示をみました。

展示室へ入る前の入り口には手塚治虫がつくりだしたキャラ達がならんでいました。中に入ると、手塚治虫の小さい頃の写真などが、最初に目にはいりました。展示を見ていて、私が興味を持った、すごいと思った作品は、『紙の砦』と『火の鳥』です。なぜ、この作品に興味をもったかというと、他の作品も、もちろんすごいと思いましたし、ずっと見ていられますが、『紙の砦』では戦争の話、それと絵、『火の鳥』では、木や自然、はいけいの描きこみ、そこに興味をもちました。一つ一つの線がきれいにかいており、絵コンテなども、みましたが、とても、すごいと、すてきだと思いました。17歳でデビューしたことにもおどろきましたが、まんが家生43年間そして43年間でつくりあげた作品、初の単行本の、新宝島、医師として生きるか、まんがかを生きるかへの選択、とても興味のある作品ばかりで、もう一回行きたいと思いました。

茨城県近代美術館

ブログキャラクターきんびー